

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年1月30日）

1 主な報告等

(1) 自動音声応答システムの導入について

委員から、警察本部や各警察署の電話交換業務における外線からの問合せについては、自動音声応答システムの導入により、電話交換士を他業務にシフトさせるなど人的リソースの有効活用に繋がる。また、不要不急の入電対応の減少や電話交換業務の負担軽減となり、職場環境の改善が期待できる。システム導入後は、適宜、その運用状況について検証し、改善点の見直しなどシステムの利便性や機能性の向上に努めていただきたい旨の発言があった。

(2) 令和6年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

委員から、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、幅広い世代がサイバー犯罪の被害者となっていることが説明を受けて分かった。サイバー犯罪被害の未然防止のため、各世代ごとに被害に遭いやすい犯罪手口とその対策を周知する広報啓発の在り方を検討していただきたい旨の発言があった。

(3) 特定危険指定暴力団五代目工藤會幹部らによる傷害、証人威迫等事件の検挙について

委員から、暴力団については、全国の警察が総力を挙げて、壊滅に向けた対策に取り組む必要がある。暴力団による暴行、脅迫などの悪質な行為は、県民生活に少なからず影響を及ぼすことから、今後も暴力団組織等の弱体化に向けて徹底検挙に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

(4) 令和6年中の人身事故発生状況及び交通違反取締り状況について

委員から、飲酒運転の検挙数、飲酒絡みの人身事故の多さは、依然として当県の大きな課題の一つである。飲酒運転は、運転免許の停止や取消し処分となり、失業等経済的にも大きな影響を及ぼす。その結果として、家庭不和等に至るなど、飲酒運転が日常生活に大きな支障を生じさせることについて、自分事として捉えさせる機会を設けるなどの施策を検討していただきたい。また、飲酒運転の実態として、二日酔い運転の検挙数が多いことから、関係機関・団体等と連携して、広く県民に適正飲酒を呼びかけるとともに、「飲酒運転をしない させない 許さない」社会気運を高める取組を継続していただきたい旨の発言があった。

(5) その他

警察本部から、交通人身事故発生状況等の分析結果に基づいた交通指導取締りや各種施策により、昨年の交通人身事故総件数は前年比で減少したが、交通死亡事故の発生件数は増加した。本年も交通事故抑止を図るため交通指導取締りと各種施策を強化して取り組んでまいりたい。

サイバー犯罪による特殊詐欺等の被害は、非常に深刻化しており、公安委員会の

御指摘も踏まえ、県民等に対するきめ細やかな注意喚起や防犯活動に取り組んでまいりたい。また、民間企業等との連携及び職員のサイバー犯罪対処能力の向上を図り、サイバー犯罪取締りを強化してまいりたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について
- ・ 課等の設置及び廃止について
- ・ 警察宛て苦情の受理・処理結果について
- ・ 逮捕術大会・拳銃射撃競技大会の来賓案内について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について